



代表取締役社長

白居 賢

株主の皆様へ

初冬の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この上半期の世界経済は、欧米を中心に好調に推移し、当社の主要顧客の属する電子部品業界も、昨年ほどの過熱感はありませんでしたが、総じて堅調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社は引き続き国内外で拠点・ネットワークの新設・拡充を進めました。本年5月に埼玉県加須市で大型の新倉庫が稼働し、保管能力の増強を行いました。8月には需要拡大が期待されるタイで倉庫建設に着手し、事業拡大に向けて基盤強化を進めております。

上期の業績は、積極的な拡販活動により電子部品物流事業を中心に売上高を拡大することができましたが、営業利益は新拠点の立上げや航空運賃の高止まりなどのコスト増により減益となりました。

下期は、国内外で新規に進出、拡大してきた拠点の安定稼働や保管業務での一部自動化による生産性改善など、収益性の向上に重点的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年9月 第2四半期

# IRレポート

～ 2018年4月1日から2018年9月30日まで～

株式の概況 (2018年9月30日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

| 株主名  | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| アルプス電気(株)                                  | 16,526  | 46.8    |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND     | 2,856   | 8.1     |
| TDK(株)                                     | 2,804   | 7.9     |
| アルパイン(株)                                   | 792     | 2.2     |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) | 641     | 1.8     |

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2018年9月30日 現在)

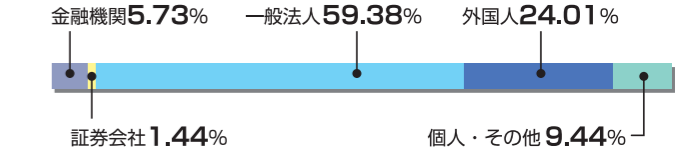
社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)  
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.  
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756  
 電話番号 045-531-4133 (代表)  
 設立 1964年7月2日  
 資本金 23億 4,904万円  
 社員数 (連結) 5,876名 (単独) 917名  
 運行車輛数 (連結) 3,368台 (単独) 637台  
 倉庫面積 (連結) 833,230m<sup>2</sup> (単独) 271,713m<sup>2</sup>

物流個性

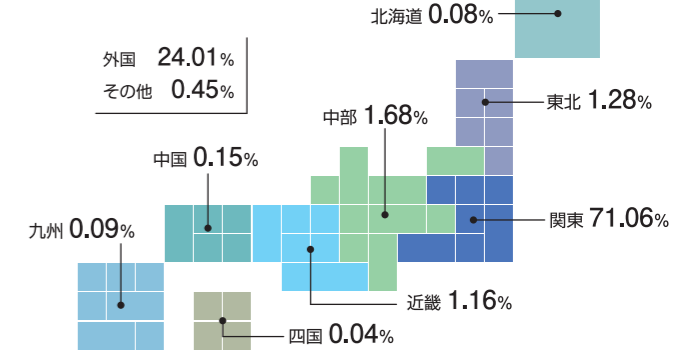
お各様のための、最適物流を。

- ホームページURL <http://www.alps-logistics.jp/>
- IR情報URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部  
 公告方法 電子公告

【ご注意】  
 ・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。  
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

## 当第2四半期の連結業績実績及び通期予想

(単位：百万円、率：前年同期比増減)

| 2019年3月期 第2四半期累計(実績) |                  |
|----------------------|------------------|
| 売上高                  | 52,304 (1.1%) ↑  |
| 営業利益                 | 2,006 (△13.3%) ↓ |
| 経常利益                 | 2,087 (△8.2%) ↓  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益     | 1,188 (△5.3%) ↓  |

| 2019年3月期(予想)    |                  |
|-----------------|------------------|
| 売上高             | 106,000 (1.0%) ↑ |
| 営業利益            | 5,100 (3.4%) ↑   |
| 経常利益            | 4,920 (4.6%) ↑   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,700 (10.7%) ↑  |

## 連結業績の概況 (2018年4月1日～2018年9月30日)



加須新倉庫

3カ年の中期経営計画最終年度となる当期は、新領域に挑戦しビジネス・物量を拡大、「現場革・進」による生産性向上と利益の確保、競争優位性の拡大の3つを重点戦略として取り組んでいます。電子部品業界ではスマートフォン向けの出荷が伸び悩みましたが、電子化が進む自動車向けに支えられ、荷動きは堅調に推移しました。このような環境下、引き続きグローバルに拠点・倉庫・ネットワークの拡充を行い、成長に向けた基盤強化を進めました。当期の連結売上高は、前期比1.1%増収の523億円に、連結営業利益は、13.3%減の20億円となりました。

### ▼電子部品物流セグメント

国内・海外一体となった提案営業を推進し、取扱貨物量の拡大を図った結果、アルプスグループ以外の一般顧客向けを中心に売上高が増加し、3%の増収となりました。利益面では新拠点の立上げ費用、航空運賃の高止まりなどコスト増により減益となりました。

### ▼商品販売セグメント

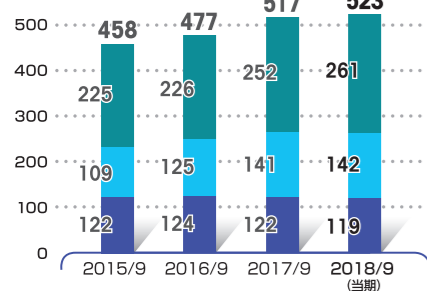
欧州や中国で減少した一方、北米では車載関連を中心に増加し、微増収となりましたが、仕入原価率の上昇により減益となりました。

### ▼消費物流セグメント

消費物流の(株)流通サービスは、取引の一部見直しを進めたことから減収に、人手不足対策に伴う労務費増により減益となりました。

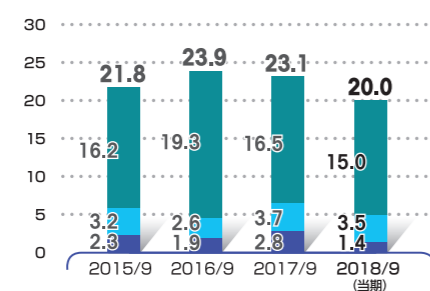
## 売上高

(単位：億円)



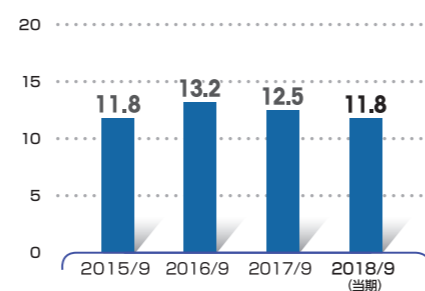
## 営業利益

(単位：億円)



## 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：億円)



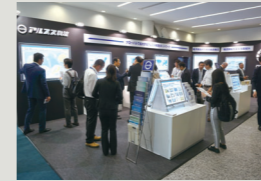
## トピックス



### ALPS SHOW 2018に出展

当社は、アルプス電気(株)が9月19～21日に開催したALPS SHOW 2018にグループ会社として出展しました。

ALPS SHOWはアルプス電気が隔年で開催し、お客様を招いて新製品や新技術をご紹介しますプライベートショーです。



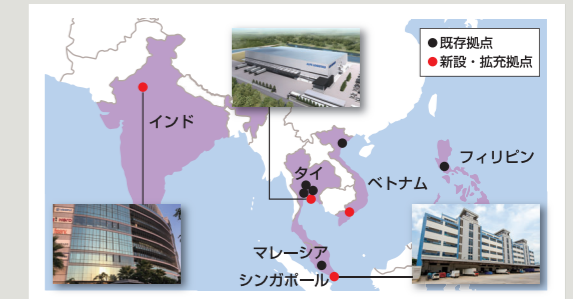
ご来場者でにぎわう当社ブース

当社では、拡大する国内外のネットワークとサービスをテーマに展示を行いました。本年5月に稼働を開始した加須新倉庫をはじめ国内拠点の拡充状況、中国・アセアン・インド・欧米など各地それぞれのニーズに対応したオペレーションをPR。また、当社では、人手不足への対応として、細かな手作業や目視での作業の「自動化」に取り組んでおり、自社開発した半導体の小分け装置と数量確認のための画像認識システムをご紹介します。



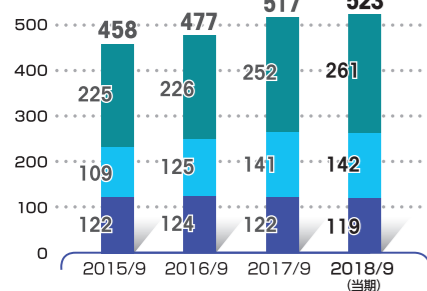
### アセアン・インドでの拠点拡充進む

当社では、アセアン及びインドを重点エリアと位置づけており、今期もシンガポールで倉庫の移転拡張、タイで自社倉庫の建設着工、ベトナム第2の拠点としてホーチミンへの進出など、引き続き拠点の拡充を進めております。また、インドではデリー近郊に本年1月に現地法人を設立。フォワーディング事業に続いて、このたび保管業務を開始しました。車載市場の伸展に伴い電子部品の物流ニーズも高まるが見込まれており、事業拡大に取り組んでまいります。



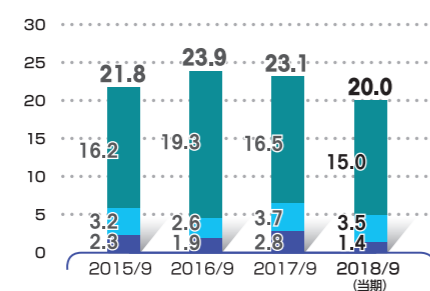
## 財政状況

(単位：億円)



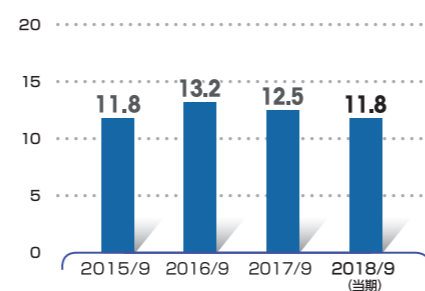
## 設備投資・減価償却費

(単位：億円)



## ROE・ROA

(単位：%)



※ 2018/9期は年率換算して算出しています。